

犬や猫のフン・尿被害について

井原市では、犬・猫の放置されたフンや尿による被害で困っている、という
ような相談が多く寄せられています。

私有地内や公園、道路などの公共の場所で、犬・猫のフンや尿で迷惑を受け
ている人は、少なくありません。

他人の犬や猫のフンや尿を始末することは、不愉快なものです。

飼い主は、愛犬や愛猫が地域の嫌われ者にならないためにも、逆の立場にな
って考え、周囲に迷惑をかけないように、ルールやマナーを守りましょう。

犬の飼い主の方へ



- ・散歩中に出た犬のフンは、ビニール袋などに入れて必ず持ち帰り、しっかり袋を閉じてから燃やすごみに出しましょう。
- ・犬がフンや尿をした場所は、ペットボトルに入れた水で洗い流しましょう。
- ・犬の放し飼いや、ノーリードでの散歩は絶対にやめましょう。

猫の飼い主の方へ



猫が地域で起こすトラブルはフン・尿被害だけではなく、私有地内での出産
や花壇・植木の荒らし、車への傷、集積所のゴミあさり、発情期の鳴き声によ
る騒音についても報告されています。

飼い猫については、首輪・迷子札・マイクロチップをつけて、屋内のみで飼
育をするように努めてください。

～野良猫に対して無責任なエサやりはやめてください～

野良猫への無責任なエサやりにより、野良猫が集まり、無秩序に繁殖を繰り
返すことで地域の猫の頭数が増えます。これにより、近隣住民の方への野良猫
による被害が拡大し、猫自体が嫌がられる存在となってしまうことがありま
す。また、エサをあげている人がいなくなった後に、野良猫は行き場を失いま
す。野良猫による被害や不幸な野良猫の数を減らすためにも、無責任なエサや
りはやめてください。

>>>不幸な猫や地域のトラブルを減らす地域猫活動の詳細は裏面へ<<<



地域猫活動について



地域猫活動とは地域住民が主体となり、周辺住民の合意を得たうえで、地域にいる飼い主のいない猫（野良猫）の不妊去勢手術を行い、エサやりやフンの始末などに関するルールを定めて、継続的に管理することで、一代限りの生を全うさせて猫による被害や産まれてくる不幸な子猫の数を減らし、「人と動物が共生できる地域」にしていく活動です。

地域猫活動のルール

① 適正なエサやり

エサは決まった時間に、了解を得た場所で適切な量だけ与え、食べ残しを片づける。絶対に置きエサはしない。

② 周辺住民の理解と協力

問題が発生しないように、地域でよく話し合い、コミュニケーションをとる。

③ 不妊去勢手術の実施

飼い主のいない猫をこれ以上増やさないために、必ず不妊去勢手術を実施する。手術後は耳のV字カットなどの目印をつける。

④ トイレの管理

猫トイレの設置やフン、ゴミの清掃を行い、地域の環境美化に貢献する。

地域猫活動支援事業

岡山県動物愛護センターでは、野良猫に起因する問題を減らすことを目的に、地域猫活動に主体的に取り組む団体等を対象に「岡山県地域猫活動支援事業」を実施しています。

支援内容

- ・ 地域猫活動に関する専門的な知識及び啓発資材の提供
- ・ 地域猫活動における不妊去勢手術の実施

▶ 詳しくはホームページをご覧ください



ホームページはコチラ